

「まるっとーく in 綾部」の実施結果について

趣旨

京都府北部地域の高校生は、周りに大学が立地していないため、都市部の高校生よりも、大学について知る機会や現役の大学生と接する機会が少ないのが現状です。

また、地元の歴史や文化に触れたり地元で働く方々とじっくり話す機会も少なく、大人になって地元で働き生活するイメージが持てないまま高校を卒業し、高校卒業を機に都市部へ転出し、大学卒業後もそのまま他地域で社会人としてのキャリアをスタートさせる若者が多くなっています。

そこで、京都高大連携研究協議会では、京都府北部地域の高校生のキャリア形成と地域を支える人材の育成を目的として、京丹後市久美浜町に引き続き、今回は綾部市において高校生、大学生、地域の方によるワークショップ「まるっとーく in 綾部」を開催しました。



実施概要

日程	2015年3月13日(金) 14日(土)	
場所	里山交流研修センター（綾部市）	
主催	京都高大連携研究協議会（京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府私立中学高等学校連合会・京都商工会議所・大学コンソーシアム京都）	
協力	一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構 特定非営利活動法人里山ねっと・あやべ	
参加者	高校生	16名（京都府立綾部高等学校15名、京都府立福知山高等学校1名）
	大学生	15名（龍谷大学、京都精華大学、同志社女子大学、京都女子大学、立命館大学、神戸大学、関西大学、近畿大学）
	社会人	13名（旧豊里西小学校区の住民等）

実施報告

今回も、大学生は前日から現地に入ってグンゼ博物館の見学や志賀郷地域の散策、綾部特産館館長からの講話などを通じて地域の歴史や文化について理解を深めてから、翌日の本番を迎えることができました。

高校生は、午前中は少し緊張した様子も見受けられましたが、大学生と一緒にピザづくりをする中で徐々に打ち解け、午後からはリラックスした表情で大学生や社会人との対話に参加していました。また、大学生や社会人からこれまでの人生におけるエピソードを熱心に聞いて、相槌を打ったり積極的に質問している姿が印象的でした。参加していただいた社会人の方は、ずっと地元で暮らしてきた方だけでなく、IターンやUターンの方も参加していただいております。綾部の魅力や課題、若者への期待など、日頃感じていらっしゃることを率直に話していただき、大学生と高校生には良い刺激となりました。



このワークショップを通じて、高校生は自分の夢や目標を再確認し、その実現に向けて動き出す勇気をもらうとともに、綾部の魅力を再認識する機会となり、大学生は対話を先導することでファシリテーション力を養うとともに、これまでの人生を振り返ることで、新たな気づきを得ることができました。地域の方からも「若者と語り合うことができ良かった。また参加したい。」との声をいただき、高校生、大学生、地域の方それぞれにとって、意義のある取組みになりました。

今年度の結果をブラッシュアップさせ、来年度も引き続き、この企画を実施していきたいと考えています。



綾部の魅力を参加者一人ひとりが書き出したラベル

13日タイムスケジュール

9:30-12:00	大学生移動（京都→綾部）
12:00-13:15	～綾部さとやま散策～（志賀郷地域） 【昼食（竹松うどん）・散策・地元の方との交流】
13:30-15:30	～綾部まちなか散策～（綾部駅前） 【綾部特産館館長の講話・グンゼ記念館見学】
16:00-18:00	事前準備ワーク@里山研修交流センター
18:00-21:00	夕食・入浴@里山研修交流センター
21:00-22:30	会場準備@里山研修交流センター
22:30	就寝【宿泊】@里山研修交流センター

14日タイムスケジュール

9:00-11:30	★午前の部開会（高校生×大学生） アイスブレイク
11:30-12:30	石窯ピザ作り体験～綾部の食材（フキノトウ味噌・菜の花等）を利用～
13:00-13:10	★午後の部開会（高校生×大学生×地元社会人） 企画趣旨説明
13:10-14:00	インタビューワーク～「わたし」と「あやべ」についてグループで対話～
14:00-14:50	他己紹介ワーク（メンバーを入れ替え、各グループでの対話内容を共有する）
14:50-15:50	高校生を中心とした少人数での対話（高校生が探究したいテーマに沿って対話する）
15:50-16:20	アンケート記入、まとめ、写真撮影
16:30	閉会